

かいのくに子ども観光大使2017 山梨の歴史探検隊！～甲斐善光寺～

2018.2.17 (土)

甲府市甲斐善光寺境内



山梨の歴史探検隊！～甲斐善光寺～

住職さんから聞く甲斐善光寺の謂れ

まず子ども観光大使たちは、甲斐善光寺金堂で参拝。その後、住職さんによる甲斐善光寺にまつわる講話。住職さんは小さなお子さんのためにわかりやすく、時折笑いを交えながらお話をしたり、質問をしたりしました。子ども達だけでなく、保護者もじっと耳を傾けていました。

今回の子ども観光大使活動では、地元にある甲斐善光寺について学び、保護者と一緒に体験したり、灯籠作りをしたりしました。自分たちの住んでいる山梨県のことを新しく知って、もっと山梨のことを好きになる、そういった活動を行いました。10家庭子ども17名・大人13名、計30名の参加者にお集まりいただき、楽しく活動することができました。



子ども観光大使とは

自分たちの住んでいる市町村の、今まで知らなかった良さに気づくことができる子ども、自分たちの住んでいる市町村のことがもっと好きになって、誇りを持てるようになる子ども、そして、知ったり学んだりした良さを発信していく子ども。それが子ども観光大使です。

山梨県だけでなく、静岡県や栃木県、山形県などでも、子ども観光大使が数多く生まれています。子どもが地元地域のことを好きになり誇りを持ってくると、とても好評です。

金堂内の「鳴き竜」「お戒壇廻り」に感動

住職さんの講話をお話を聞いた後、金堂内の「鳴き竜」「お戒壇廻り」を体験。真っ暗な通路を通して恐る恐る鍵を触る「お戒壇廻り」。小さいお子さんは、保護者の方の手を握りながら体験しました。

次に「鳴き竜」の描かれた場所に立ち両手を合わせると「パーン」。龍が鳴いたかのように音が響き渡ります。その音をじっくりと聞き入る子ども達。「すごいね！」という感想が聞かれました。

その後、宝物館に移動。教科書にも載っている最古の源頼朝木像を見たり、展示物の説明を聞いたりして、子ども達は「甲斐善光寺博士」になっていました。



場所を変えて今度は灯籠作り。講師の先生に教えてもらいながら、自分なりに灯籠をデザイン。しかし、教えてもらうのと自分でやるのでは大きな違いが・・・。模様や配置に四苦八苦していると保護者の方が優しくフォロー。保護者の方が見守る中、安心して作業をすることができました。

完成に近づくにつれ、観光大使たちの顔が笑顔になっていきます。「これ、ここにおいたほうがいいよ」「こんなデザインの方が素敵じゃない」子ども観光大使と保護者の方との会話もとても楽しそうです。

子ども観光大使と保護者とが一緒に活動することで、地域のことを好きになるだけでなく、お互いの良さも改めて知り合う機会にもなりました。

活動に取り組み観光大使

子ども観光大使になるための3つの条件

- ①子ども観光大使の講座に3回以上参加すること
- ②観光八ガキ・観光俳句・観光動画のいずれかで、山梨の良さを発信すること
- ③「子ども観光大使検定」に合格すること



かいのくに子ども観光大使2017 山梨の歴史探検隊！～甲斐善光寺～

数多くの観光大使が誕生しました！



参加された方々の感想

○善光寺の歴史をたくさん知ることができてよかった。またいろいろ体験ができてよかった。善光寺のことについて、もっと知ってみたいと思った。（児童）

○大仏の手の形に意味があるということがわかった。戒壇廻りは暗くて怖かったけれど、楽しかった。（児童）

○宝物館で滅多に見られないお宝を見ることができてよかったです。灯籠作りも楽しかったです。（児童）

○金堂の中に入ったり、お戒壇廻りや鳴き竜の体験など、なかなか体験できないことができて貴重な時間で、とても楽しかったです。（保護者）

○子どもたちが地元の歴史に興味をもつきっかけになってほしいと思い参加しました。親子で楽しい時間を過ごすことができました。（保護者）

○ご住職の説明や源頼朝の木像を拝見したり、戒壇廻りをさせていただいたり、大変楽しませていただきました。また、工作教室では久しぶりに童心にかえることができました。（保護者）